学校番号	４１６

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新現代社会　新訂版　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代社会の学習において主体的・対話的で深い学びを実現するために、様々な社会的事象の関連や本質を捉え、広い視点に立ち公正な判断ができるようにしなければならない。本校では ICT を活用し、かつ資料データなどを適時授業に投入することで、生徒の関心・興味を抱かせる。また、学習指導要領改訂を受けて、生徒自らが調査し、まとめ、発表する授業を取り入れる。今起こっているコロナウイルスによるパンデミックなどに関連し、過去の事例に学ぶべきものにも注目する。

2　学習の到達目標

中学校で学習した「公民分野」を少し発展させた学習である。日常生活における「なぜ」「どうして」という疑問を持つ意識付けを行い、「自分とはどんな存在なのか？」「卒業後、自分自身はどうありたいか？」などを考える授業を行う。昨年度はコロナの中で世界中が生きづらい生活を送ったことで身近にどのような変化があったを理解しやすい。授業が終わる 3 学期終了時点で授業と実社会のつながりが理解できるようになることを目標とする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に適切に選択して、効果的に活用している。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	振り返りシート ノート点検	定期考査	定期考査 ノート点検	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地球環境問題	・破壊される地球 ・地球環境の危機 ・自然の保護と再生	○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:先進国と途上国双方に環境問題の課題があることを理解し、地球環境に関心を高めようとしている。 b:現代社会の諸課題について、幸福、正義、公正などの観点から多面的多角的に考察し、いかに生きるかについて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用できたか。 d:資源は有限であることを理解し、排出・処分から再利用の在り方などについて理解している。	ノート 定期考査
	自分らしく生きる	・青年期とは ・自己形成の課題 ・職業生活と社会参加	○ ○	○	○	○	a:青年期の自己の目覚めとして「自分とは何者か」という問に関心を持ち、自らのアイデンティティを探求しようとする意欲をもっている。 b:自己形成の課題を意欲的に追求し、自己の生き方について考察しようとしている。 c:青年期の自己の課題について、自立について思考を深め、他者との関わりや自己決定についてその結果や過程について適切に表現している。 d:青年期の意義と自己形成、望ましい職業観・勤労観や男女共同参画社会、社会参加、などについて理解している。	授業プリント 定期考査
	現代国家と民主政治	・民主政治の成立 ・民主政治の基本原理 ・民主政治のしくみと課題 ・世界の主な政治制度	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:民主政治の本質や現代社会の特質を意欲的に追求しようとしている。 b:西洋で発達した民主主義とわが国に古来から根づいている思想や外来思想の受容・伝統について、多面的・多角的に考察している。 c:国民主権を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で表現している。 d:民主政治の基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。	授業プリント 定期考査
	日本国憲法の基本的性格	・日本国憲法の成立 ・自由権 ・平等権 ・社会権、参政権、請求権 ・新しい人権	○ ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○	a:主権者として憲法成立過程と基本的人権、平和主義の内容を意欲的に追究しようとしている。 b:　日本国憲法の存在意義や特徴を多面的多角的に考察している。人権保障の憲法の条規と、現実の社会における課題との関連を多面的多角的に考察している。 c:　人権保障・人権問題に関する情報を収集し、有用な情報を選択し、整理している。課題解決策について考察し表現している。 d:　人権保障に関連する日本国憲法の基本的条規を理解し、その知識を身につけている。	ノート 授業プリント 定期考査

2学期	日本の政治機構	・政治機構と国会 ・行政権と行政機能の拡大 ・地方自治と住民福祉	○ ○	○	○	○	a: 国民が参政する選挙、主権者としての政治参加に対して関心を示し、現実の課題に対して意欲的に追究している。 b: 憲法条規上の国会、内閣、裁判所や地方自治の規定と、現実の三権の状況や中央と地方との関連などを的確に比較し考察している。 c: 中央政治・地方政治に関する情報を収集し、有用な情報を選択して整理したうえで、自己の意見を表現している。 d: 憲法条規や法律条規に照らし合わせ、統治機構・地方自治・選挙制度について理解し、その知識を身につけている。	ノート 定期考査
	日本の政治参加	・政党政治 ・選挙制度 ・世論と政治参加	○ ○	○	○	○ ○ ○	a:選挙制度を理解し、政治参加することに関心をもち、自分たちの生活に選挙が影響をあたえていることに気付き、政治に参加しようする意識をもつ。 b:一票の格差などの課題に対して、多面的な立場から考察することができたか。 c:投票率や各国との統計を見比べて、現在の日本の選挙制度の課題を考察するために、適切に資料を活用している。 d:選挙制度、国会、内閣、裁判所の役割について理解している。	ノート 定期考査
	現代の経済社会	・経済社会の変容 ・市場のしくみ ・財政の役割と租税	○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○	a:経済活動の在り方について考察し、わが国の社会保障と社会福祉制度の関連について、関心をもち、諸課題について探求しようとしている。 b:消費者、納税者としての個人の経済活動における社会的責任について多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:個人や企業が税金をどのように活用し、銀行がどのような働きをするのか情報を収集し、適切に活用している。 d:企業の働き、公的部門の役割と租税、金融機関の働きなどについて理解している。	ノート 定期考査

3学期	日本経済の特質と国民生活	・戦後復興から高度経済成長へ ・日本経済の課題 ・労働問題と労働者の権利	 ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:消費者問題、労働問題、環境問題、社会保障など、国民生活に直結する課題について関心をもち意欲的に探究している。 b:戦後日本経済の歴史を多面的多角的に考察し、日本経済の変容点を考察し主体的に判断している。 c:白書や統計資料などを用いて、消費者問題、労働問題、環境問題、社会保障など、国民生活に直結する課題のデータを収集して読み取り、図表などにまとめている。そのうえで、客観的に課題を分析し、解決策を表現している。 d: 日本経済の歴史と現状と課題について理解し、その知識を身につけている。	ノート 定期考査
	資源・エネルギー問題	・かぎりある資源 ・資源をめぐる動向 ・原子力と再生可能エネルギー	 ○ ○	 ○	○ ○ ○	○	a:資源やエネルギーをめぐって紛争が起こるなど、国際政治の動向に影響に関心をもち、意欲的に追求している。 b:日本のエネルギー資源として、原子力発電が行われてきたが福島第一原発の事故から政府の見直しの動きなどを考察している。 c:諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用できたか。 d:資源の節約的で効率的な利用、公正な分配、持続可能な利用といった課題に取り組んでいくことが必要であることを理解している。	ノート 定期考査
	国際経済の動向と国際協力	・国際社会と国際法 ・国際連合と国際協力 ・国際平和と日本の役割	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:国家間の対立、民族紛争といった国際紛争の諸要因に関心をもち意欲的に探究している。 b:国際政治の歴史学習を通して、各国家がその時点ごとに行った意思決定の背景や及ぼした影響を多面的多角的に考察している。 c:資料を用いて、諸課題の要点を整理し、理論と現実のギャップを多面的多角的に考察し、現実課題の解決策を表現している。 d:集団安全保障、国際連合のしくみ、国際法、国際政治の歴史、国際社会の諸課題について理解し、その知識を身につけている。	ノート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。